令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　やまなみ会

・障害者支援施設　　阿蘇くんわの里

・就労支援センター　阿蘇くんわの里

目　　次

１　はじめに　・・・・・　１

２　施設管理状況　・・・・・　１

３　利用者状況　・・・・・　１

４　事業別事業計画

【Ⅰ】　障害者支援施設　・・・・・　２

【Ⅱ】　就労支援センター　・・・・・　３

５　医務　・・・・・　４

６　給食　・・・・・　５

７　施設行事　・・・・・　７

８　職員状況　・・・・・　８

９　虐待防止委員会　・・・・・　９

１．はじめに

阿蘇くんわの里では、利用者一人ひとりの尊厳を守り、安全で豊かな生活を提供することを目的とし「施設入所支援」「短期入所」「生活介護」「就労継続支援Ｂ型」のサービスを提供した。利用者の高齢化・障害の重度化によるＡＤＬの低下が著しく、介護の必要性がより一層高まっており、日々の移動介助や、施設内のバリアフリー環境の維持・安全確保に細心の注意を払って支援を行った。

利用者処遇としては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザ等の季節性感染症の施設内流入および蔓延防止を最優先課題として取り組み施設内での蔓延をゼロにする事が出来た。施設内外の行事・活動においては、利用者の社会体験と生活モチベーションの向上を図り、利用者の満足度を上げると共に、生きがいと楽しみのある施設生活を提供した。

施設運営においては、提供する支援の質を客観的に担保し、より手厚く専門的なケア体制を構築するため、各種サービス加算の維持・新規取得、およびそれに連動した職員のスキルアップ（人材育成）に積極的に取り組んだ。

今年度から義務化された行政･地域･利用者参加による地域連携推進会議を開催し、行政・地域の方々に施設の現状を知ってもらう機会になった。

２　施設管理状況

【建物整備】

①居室個室化工事　北棟２名３室を個室６室へ増室工事

②トイレ改修工事・通路雨漏り工事

３　利用者状況

支援学校や一般からの体験･実習を応募･受入れを行い利用者確保に取り組んだ。

利用者・家族の意向に沿った支援内容の提案に努め、加えて利用者の活動を幅広く知ってもらうためにＳＮＳにて情報発信した。又、支援施設及び就労支援のＤＶＤを作成し、地域・行政等へ紹介、阿蘇・菊池・鹿本・熊本市エリアの支援学校へ施設紹介として配布した。今後の利用者獲得に活用する方針。

令和８年３月末現在

	事業	定員	令和７年度 利用者	令和６年度 利用者	増減
日中事業	生活介護事業	40	38	37	+1
	就労継続支援Ｂ型	40	39	39	±0
居住	施設入所支援	40	39	38	+1
	短期入所支援(併設型)	１名以上	6	7	−1

４　事業別事業報告

【Ｉ】障害者支援施設　阿蘇くんわの里

施設入所支援　定員４０名・短期入所支援　併設１名・生活介護　４０名

令和 7 年度の施設入所利用者 39 名、生活介護利用者は通所含め３８名に対しサービスの提供を行った。

コロナ化で出来ていなかった施設イベントや外部イベント（芸術展やスポーツ大会・スポーツ観戦）に参加・引率行った。11 月には 3 パターン（神社参拝／ボーリング／七城温泉）に分け食事や買い物の日帰りで楽しめる外出イベントを行い利用者の満足を得られた。

日中活動支援に於いては、利用者個々のニーズや個性・体調等配慮しながら、レク活動（手話・脳トレ・運動・ゲーム等）や農作業・ネット及び熊の餌作業への参加を促し、居室に籠りがちな方は特に適度な運動への取り組みが出来る様支援を行った。利用者が楽しみを持って活動に取り組める様、JOY サウンドを導入し、カラオケ・体操等より楽しく参加できる様支援を行った。参加者も多くなり効果が出てきている。

買物支援については、支援方法を見直し利用者自身が店舗に赴き、自分で選んで買い物が出来る様機会を増やした。また、病院通院時の個別対応で買物・外食を試しに行ってみた。このような取組で利用者が施設生活を楽しく送れる様に支援を行った。

高齢化に伴い、ADL の低下により転倒リスクも高くなり、3 名の方が転倒する事案も発生し大腿骨骨折で入院された。原因究明など問題点を検証し、今後、安全に生活できる様、全職員に周知徹底を図っている。

その他誤嚥性肺炎や急性腎盂腎炎、尿路感染の症状での入院も屡々見られた為、看護師の指導の下、食事介助や見守り支援の体制強化、トイレ介助後の洗浄を徹底し支援に当たった。加えて利用者の重度化対応も目的として強度行動障害支援研修を６名終了した。

利用者の体調や病状等に合わせ、看護師・栄養士・主治医・支援員が連携し食事体系を見直し食事提供を行っている。

・施設内の整備として居室の個室化し、利用者のプライベートの確保又リラックスできる環境を整えた。

又、高齢化や重度化の伴いトイレや浴室・脱衣室等の手すりを増設、居室に於いても離床センサーやマットを増やし転倒防止に繋げている。

・虐待防止等の研修に於いては、熊本県より障害者虐待防止研修（出前講座）が行われ、虐待についての要因や障害者の尊厳・自立及び社会参加・権利及び利益を擁護について学び、改めて職員の意識改革を行った。

・障害区分の見直しを行い、5 名の方の区分が上がり適切な支援に当たる結果に繋がった。

各事業所や行政等と連携し、体験や緊急的な受け入れ等行い、障害福祉サービスの提供に当たった。

＜課題・次年度への提起＞

施設生活する中で、利用者が楽しく・安心・安全した生活が送れる様、生活のスキル向上と個々に合った介助・支援を行い、全職員が統一し万全な介護で快適な毎日を送っていただける様業務に当たる。

職員会議、介護会議、担当者会議、感染症予防委員会、褥瘡委員会、虐待防止委員会等

定期的に開催し職員の意識及びサービスの質の向上を図る。

令和８年度のスローガンとして“笑顔で安心と安全な介護を提供します”を掲げ職員の意識改革を行い、利用者（顧客）満足を目標にサービスの質の向上を行っていく。

【Ⅱ】就労支援センター　阿蘇くんわの里

就労継続支援Ｂ型事業　　定員 40 名

就労継続支援Ｂ型事業は現員 39 名で、各工場にて日々作業に取り組んでいる。農村公園あぴかのトイレ清掃や赤水ゴルフ倶楽部等の実習が増え、収入増となる。取引先への営業巡回も、重点的（特に阿蘇周辺）に行う。最終的に就労収入はマイナスとなった。平均工賃は 28,625 円となり目標工賃を達成している。

1．自主生産班・営業（利用者 5 名）

物価高騰で経費増加が続いている状況。資材発注／在庫管理／生産調整を行いながら生産活動続けている。しかし資材高騰で経費削減には至っていない。

お試しセットを 880 円⇒500 円へ価格修正を行い、お客様が手軽に手に取る事が出来るようにしたことで、お試しセットの注文が多く入るようになってきている。

営業については、既存取引先（85 件）を重点的に巡回してきた。コロナ時期に比べ、阿蘇訪問に来られる海内外の観光客が増加している。夏以降は阿蘇周辺（田園空間・ASOMILKFACTORY）は、週末／連休前後は重点的に巡回した。

2．下請け班（利用者 17 名）

身体不良／情緒が安定せず入院を余儀なくされた利用者の方もいたが、全体的には 1 年を通じて穏やかに過ごせながら作業に参加されていた。昨年とは違い常に何か作業を確保できたことが、利用者様の安定につながった。

年度初頭に計画していたゼリーの全受注量と大阪万博の受注が予定より大幅に減少し、売上予算の変更に至った。作業確保の為、阿蘇薬草園（株）・（株）丸信様の作業を前年より大幅に多く受注することができた。

また栗畑の栗収穫も売上につながっている。施設内管理においても自走式草刈機購入し除草作業も増え、売上補填になっている。

３.縫製班（利用者 16 名）

1 ホテル／1 旅館のタオル作業が終了し、収入減となった。現在は、2 軒の旅館からタオル作業を受託している。その他、枕カバー縫製／雑巾縫製販売／斎場備品用具の仕上げ作業／衣類の糸切・包装作業／空き缶作業を行っている。

次年度より新規受託作業として、フルーツネット作業を新設し、売上増に繋げていく。

４.実習班（各班より）

各班より利用者を選抜し、施設外実習を行う。駅舎トイレ・運動公園トイレ・宿泊施設客室清掃を行う。新たな就労体験と利用者のスキルアップを行う。

５．その他活動

その他活動では、障がい者芸術展へ作品出品及び展示見学や日帰り旅行を行い、心身面がリフレッシュし、作業意欲に繋げる事が出来た。施設内活動では、各種行事の事前準備や事後整理（後片付け）を行い、利用者の活動に対する役割や認識を持つことで、スキルアップする。

課題・次年度への提起

① 利用者支援

１） 利用者様に沿った支援と作業のレベルアップ

２） 施設外実習への積極的な参加を促す

３） 利用者様へ作業参加の声かけや支援を行う

４） 各作業場で連携し、協力しながら作業意欲／スキルアップに繋げる

５） 体調不良者への速やかな対応、また感染症の拡大防止を徹底して行う

■手洗い・うがい・アルコール消毒（トイレ後）の徹底および呼びかけ

■ご家族様／グループホーム／生活介護と密に報連相

■発熱者／感染者／接触者の情報共有。（隔離・待期期間など）

② 作業部門

１） SNS を利用し、購入促進を行う

２） 取引先への計画的な巡回

３） 機械メンテナンス定期点検実施

５　医　務

利用者の日々の健康管理、心身状況の把握に努め、利用者が健やかに生活できるよう日常生活支援に関わりバイタルチェックと、それを基とした医療機関との連携に重きを置き、早期対応・対処に取組んだ。

【各医療機関の定期受診状況】

１カ月毎	１、２カ月毎	その他
市原胃腸科外科	やまなみ病院	□透析
小野眼科	ピネル記念病院	坂梨ハートクリニック
古嶋眼科	医療センター	（３回／週）
坂梨ハートクリニック		□歯科
菊陽病院		きずな歯科（１回／週）
阿蘇医療センター		□整形
ニキハーティ		大阿蘇病院

【健康管理】

① 身体測定

毎月測定　体重・血圧・脈拍（身長は 4 月 10 月　2 回）

予防接種　インフルエンザワクチン接種 1 回／年

健康診断　10 月　3 月　2 回／年　※通所利用者に関しては希望者のみ

・検診の結果で異常がみられた方は速やかに再検査を実施。

・定期服薬者は定期受診を１～２ヶ月毎に実施。

・利用者の病院受診に関して本人のニーズに合わせ迅速に対応した。
慢性疾患を持つ利用者は定期受診とそれに伴った付き添い支援を行った上で速やかに家族・栄養士・支援員との情報共有並びに連携を図り支援を行った。

・服薬変更については、申送りを行い、職員間で情報の共有化を行った。

【健康観察】

・利用者の障害、疾病、疾患等の状況を支援員と連携を取り、適時対応し医療機関の受診及び必要に応じて救急搬送の指示を行った。

・毎日のバイタル確認・定期の体重及び血圧測定・歯磨き指導と口腔ケア・検温・排泄確認を行い経過内容に応じて医療機関処方の投薬を行った。

【感染予防】

・施設内感染予防の為、手指消毒液の設置及び説明し指導した。

・手洗い・うがいの声掛け・咳エチケットの指導。必要に応じてマスク着用徹底。

・各居室の換気・温度調節（毎日）。

・オゾン除菌脱臭機にて 365 日 24 時間除菌消臭を行い快適な空間作りを行った。
オゾン除菌脱臭機によりオゾン発生による浴室除菌を１回／週で実施。

・インフルエンザ及び新型コロナウイルスの感染症等の発生時感染対策委員会を開催し感染拡大処置に努めた。令和６年５月６月７月及び令和７年２月３月に感染者有。各事業にて非感染者の抗原検査・医療機関受診・感染拡大防止策を実施した。

６　給食部門

【サービスへの取り組み】

事業計画に基づき、季節ごとの行事食や、くんわ祭り等の屋外での行事を行う中で、利用者の笑顔を見ることが出来た。誕生月の利用者には外食を行い、いつもとは違う環境での食事を楽しまれた。毎月の工賃支給日には嗜好調査の結果を基に特別メニューの提供を行い、喜びの声を貰うことができた。食事形態としては、新たにミキサー食２名、超刻み食１名、刻み食 10 名の提供、咀嚼に応じて粥食、減塩食１名、糖尿病食１名、アレルギー対応食２名の提供を行った。3 ヶ月に一度給食会議を開催し、医務や介護の他部署と連携、情報共有を図った。月に一度の体重測定の結果より個々に応じた食事量を検討し、栄養補助食品等を活用しながら、適正体重の維持に取り組んだ。体調不良の利用者には別メニューを提供する等の個別対応を行った。

【課題・次年度への取り組み】

昨年度同様、高齢化に伴う誤嚥性肺炎等の摂食嚥下に問題のある利用者が増えている。リスク予防として食前の口腔体操、ミールラウンドを行い、利用者の嚥下状態を把握し各事業部門と連携し、状態に応じミキサー食、ムース食の活用を行いながら予防に努める。また、適正体重を上回る利用者は減少傾向にあり、引き続き利用者個々の身体状況を把握し、食事の面から栄養バランスの取れた食事提供で利用者を支援し適正体重者率の引き上げを図る。

【行事食実施一覧】

提供月	イベント	提供メニュー
４月	創立記念日	赤飯、唐揚げ、茶碗蒸し
７月	七夕	七夕そうめん
	土用の丑の日	セレクトメニュー(うな丼・牛丼)
８月	お盆	手造りオヤツ
９月	十五夜	月見そば　等
10 月	くんわ祭り	焼きそば、焼き鳥　等
	ハロウィン	かぼちゃ料理
11 月	セレクトメニュー	ちゃんぽん・皿うどん
12 月	餅つき	餅、焼きそば、豚汁　等
	クリスマス	クリスマスメニュー、クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1 月	元旦	赤飯、おせち、雑煮
	春の七草	七草粥
	どんどや	カレー・おでん・お汁粉
2 月	節分	恵方巻、甘納豆
	バレンタインデー	お菓子作り
3 月	ひな祭り	ちらし寿司、ひなあられ

7　施設行事

月	行事	行事食	入所・生活介護	就労	訓練	会議
4月	花見 動物ふれあい	誕生日会 創立記念日メニュー	散髪			職員会議 支援会議
5月	動物ふれあい	誕生日会	GWお楽しみ会 散髪		水防訓練	職員会議 支援会議
6月	動物ふれあい	誕生日会	散髪			職員会議 給食会議 支援会議
7月	動物ふれあい かき氷	誕生日会 セレクトメニュー 七夕メニュー	散髪		総合訓練	職員会議 支援会議 感染対策
8月	動物ふれあい 馬追来園	誕生日会	散髪			職員会議 支援会議
9月	動物ふれあい 健康診断	誕生日会	散髪		避難訓練	職員会議 給食会議 支援会議
10月	くんわ祭り ペタンク大会 ハロウィン	誕生日会	散髪	大分日帰旅行		職員会議 支援会議
11月	インフルエンザ 予防接種 大相撲力士来園	誕生日会 セレクトメニュー ちゃんぽん・皿うどん	芸術展鑑賞 （テルサ昼食） 日帰り旅行 (波野･菊陽･七城) ほこすぎ祭り	芸術展鑑賞 （テルサ昼食）	総合訓練	職員会議 支援会議 感染対策
12月	餅つき クリスマス 忘年会 大晦日	誕生日会 キッチンカー Ｘｍａｓメニュー 年越しそば	散髪			職員会議 給食会議 支援会議
1月	元旦 どんどや 動物ふれあい	春の七草 誕生日会 おせち	初詣 散髪	ピザ焼き体験		職員会議 支援会議
2月	節分 動物ふれあい	節分メニュー 誕生日会（延期） 手作りおやつ	菊陽カリーノ （買物支援） 散髪		消防訓練	職員会議 支援会議 感染対策
3月	ひな祭り 地域連携推進会議 健康診断	ひな祭りメニュー ちらし寿司・雛あられ 誕生日会	散髪 ピザ焼き体験	ASOファミリー祭 阿蘇市体育館	総合訓練	職員会議 給食会議 支援会議

※担当者会議・ケース会議・モニタリング等に関しては随時行っている。

8　職員状況

（1） 職員研修状況

研修日	研修名
4 月 22 日	令和 7 年度熊本県知的障がい者施設協会　第 1 回施設長連絡会
5 月 27 日	熊本県社会福祉法人経営者協議会　令和 7 年度経営研修会
5 月 28 日	令和 7 年度第 1 回熊本県社会就労センター協議会施設長会議
5 月 27 日	熊本県社会福祉法人経営者協議会　令和 7 年度経営研修会
6 月 6 日	熊本県介護老人福祉施設理事会　研修会
6 月 6 日	熊本県介護老人福祉施設理事会　研修会
6 月 27 日	令和 7 年度第 1 回役員会
7 月 11 日	青年施設経営研究会令和 7 年 7 月研修
8 月 29 日	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
8 月 29 日	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
9 月 2 日	令和 7 年度社会福祉法人　法令関係研修会
9 月 4 日	令和 7 年度「人権同和問題に関する事業主等研修会」
9 月 12 日	菊池労基主催「メンタルヘルス対策講習会」
9 月 16 日	令和 7 年度第 1 回施設長・職員研修
9 月 16 日	令和 7 年度第 1 回施設長・職員研修
10 月 8 日	令和 7 年度熊本県産業安全衛生大会
10 月 17 日	令和 7 年度都道府県経営協セミナー（前期）
10 月 21 日	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者基礎研修
10 月 31 日	刈払機取扱作業者安全衛生教育
11 月 27 日	令和 7 年度熊本県老人福祉施設理事長会議
11 月 27 日	令和 7 年度熊本県製薬協会・薬務衛生課合同薬事研修会
12 月 2 日	令和 7 年度保育実習連絡協議会
12 月 3 日	リスクアセスメント普及促進研修会
	介護福祉士実務者研修
12 月 16・17	令和 7 年度熊本県サービス管理責任者及び児童発達支援責任者基礎研修
12 月 25 日	熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業事務説明会
12 月 25 日	熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業事務説明会
1 月 15 日	令和 7 年度第 2 回施設長・職員研修会
1 月 15 日	令和 7 年度第 2 回施設長・職員研修会
1 月 16 日	日中活動支援部会・第 2 回施設長意見交換会
1 月 22 日	令和 7 年度熊本県知的障がい者施設協会　第会施設長連絡会
1 月 23 日	令和 7 年度成年後見制度利用促進研修会
1 月 24 日	医療的ケア教員講習会

2 月 3 日	令和 7 年度社会福祉法人会計実務研修会
2 月 12 日	令和 7 年度熊本県ふるさと納税の返礼品提供に関するセミナー
2 月 16 日	令和 7 年度　都道府県経営協セミナー
2 月 17 日	令和 7 年度九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会（大分）
2 月 17 日	令和 7 年度九州地区知的障害者福祉協会種別部会・合同研修会（大分）
2 月 20 日	法人会計区分について
3 月 3 日	令和 7 年度第 2 回熊本県社会就労センター協議会施設長会議
3 月 24 日	令和 7 年度熊本県知的障がい者施設協会　種別部会
3 月 26 日	令和 7 年度第 1 回販売促進委員会

（２）職員会議等の開催

全職員による職員会議を月１回開催。各部署にて支援会議・給食会議・委員会会議を都度開催した。

（３）職員資格習得状況

支援業務のレベルＵＰを目的として職員の各種研修を行い意識向上に繋がった。

□社会福祉主事資格認定通信課程　1 名
□強度行動障害支援者養成研修修了（基礎研修）6 名
□強度行動障害支援者養成研修修了（実践研修）7 名
□相談支援従事者初任者研修　1 名
□サービス管理責任者基礎研修修了　2 名
□医療的ケア教員講習会修了　1 名
□介護福祉士登録　2 名
□安全衛生教育熱中症予防管理研修　1 名
□安全衛生教育修了証（刈払機取扱）　2 名

９　虐待防止・身体拘束適正化委員会

１．施設内の事例に基づいた勉強会の開催。勉強会にて不適切な支援・虐待と思われる言動・行動について具体例を挙げて教育・指導を行った。
２．不適切な支援等のあった職員への個別指導。定期的な面談を実施し、問題点について指導・教育・記録を行った。
３．職員・利用者の個別面談。利用者個別面談を行い不適切な言動について聞き取りを行った。職員の利用者との関わりについて悩み等を聞取り共有し、働きやすい環境を整備した。
４．新人研修。新入職員・異動による職員に対して勉強会を実施した。
５．利用者居室の点検。ネグレクト（汚染物の放置や不衛生な生活環境）や身体拘束（４点柵等）の視点で、利用者各居室の点検簿を作成し定期的に居室内の確認を行い、生活環境の改善を行った。

令和７年度虐待防止・身体拘束適正化委員会

	開催内容	虐待防止・身体拘束適正化委員会
４月	職員アンケート	
５月		第１回委員会
６月	第１回虐待防止身体拘束勉強会	
７月		
８月		第２回委員会
９月		
１０月		
１１月		第３回委員会
１２月		
１月		
２月		
３月	第２回虐待防止身体拘束勉強会	令和８年度計画

※新任職員の研修会は入職時に都度行っている。